



市川市立第一中学校 学校だより

え の き

<https://ichikawa-school.ed.jp/dai1-chu/>

令和5年度 第13号

校長 鈴木 康治

令和6年3月5日

卒業していく3年生へ

3年生の皆さん、受験勉強お疲れ様でした。第一志望に見事合格した人、おしくも第一志望を逃した人と様々だと思いますが、私が今までに関わった卒業生たちの様子を見ると、高校生活が充実するかどうかは、どの学校に行ったかよりも、どんな気持ちで行くかの方が重要なようです。例えば、①第一志望校に合格して意気揚々と入学する人、②第一志望校に合格したけど、合格後にだんだん意欲をなくし、なんとなく入学する人、③第一志望にかなわず、第二志望の学校になんとか行きたくないなあと思いながら入学する人、④第一志望にかなわなかったけれど、心の整理をつけて頑張るぞという気持ちで入学する人、様々ですが、充実した高校生活を送れる人は、①と④の人です。大学進学を考えているなら、大学受験でいい結果を残すのも①と④の人です。高校に倍率がある以上全員が第一志望に行けないことは仕方のないことですが、これからの過ごし方、卒業後の過ごし方など、気持ちの持ち方ひとつで高校生活の充実度（＝楽しさ）が変わってきます。このことは、専門学校に行く人や就職する人にも同じことが言えます。最終的に決まった進路先が、あなたにとって最高の進路だと考えてください。素晴らしい友との出会いが待っているはずですよ。特に高校での友達は一生の友人となる人も多いはずなので、楽しみにしててください。

さて、いよいよ卒業式が近づいてきました。心の準備はいかがですか。小学校でも卒業式があったと思いますが、あれから3年間、皆さん一人ひとりの心も大きく成長しました。そんな中で迎える卒業式は小学校とは違った感動があるのではないかと思います。特に今年の卒業式は「卒業式実行委員会」が組織されています。私の長い教員生活の中で、卒業式で実行委員会が組織されたことは記憶にありません。まして、卒業式練習の進行をすべてこの実行委員会の生徒が行うとは…。まさに「生徒主体」の素晴らしい取組だと思います。きっと最高の卒業式になるんだろうなあと今からワクワクしています。



ところで、卒業式では皆さんに二つお願いがあります。両方とも卒業証書授与の時のお願いですが、一つ目は、壇上で卒業証書をもらうとき、私としっかりと目をあわせてください。皆さんの顔をしっかりと覚えておきたいと思っています。もうひとつは、階段を降りるとき、（このとき皆さんは卒業証書もらった後ですから、すでに卒業生です。）まっすぐに前を向き、学校を立派に旅立っていく姿を保護者や在校生に見せてあげてください。（階段を踏み外さないように注意！）

では卒業式で・・・。

市川市立第一中学校 校歌

作詞 野上 彰
作曲 村上 正治

江戸川の流ればめぐる国府台
花吹雪波に散り飛ぶ
青春の明るき風よ 希望あれわれら
生命あれわれら 若き花々

さわやかに光はあふる国府台
啼き澄むは枝の諸鳥
青春の楽しき歌よ 力あれわれら
栄誉あれわれら 若き花々

雲波は茜と染まる国府台
渡り鳥遠くかけりて
青春の稔りの季節よ 匂りあれわれら
未来あれわれら 若き花々

冴え冴えと晴れゆく富士よ国府台
冬の日を仰ぎたたずむ
青春の輝く瞳 歴史あれわれら
光輝あれわれら 若き花々



この3年間はコロナの影響で、校歌を歌う機会がほとんどなかったかと思います。卒業式では思い切り最後の校歌を歌ってください。1,2年生ももしかしたら初めての校歌合唱かな。一緒に盛り上げてください。

卒業生の保護者の皆様

3年生の保護者の皆様、お子様の御卒業おめでとうございます。中学校の3年間は子どもたちの成長の中でも、精神的にも肉体的にも大変大きな変化がみられる年代だと思えます。特に進路選択という大きな壁に立ち向かったこの1年間は、子どもたちの心の成長と言う面で大変大きかったのではないのでしょうか。それぞれの進路へ向けて巣立っていく子どもたちは、だんだん親から離れひとり立ちしていくこととなります。親としてはすこし寂しいことですが、これも成長の証です。あたたかく見守っていただけると幸いです。

保護者の皆様におかれましては、3年間にわたり本校の教育活動に御支援、御協力を賜りありがとうございました。学校として至らぬ点多々あったかとは思いますが。この場をお借りして今一度お礼とお詫びを申し上げます。卒業して終わりと言うことではなく、今後は地域の大人の一人として在校生の健やかな成長を見守っていただけたらありがたく思います。私は1年間のお付き合いでしたが、皆様と子どもたちのおかげでとても楽しく過ごすことができました。どうもありがとうございました。